

 原島 生 慈 ガバナー	 川 越 今泉 清 詞 諮問委員 (1993-94 ガバナー)	 本 庄 加藤 玄 静 諮問委員 (2009-10 ガバナー)	 川 越 立原 雅 夫 諮問委員 (2011-12 ガバナー)	 吹 上 鈴木 秀 憲 諮問委員 (2012-13 ガバナー) (2019-20 ガバナー)	 中井 眞 一 郎 諮問委員 (2013-14 ガバナー)	 高 士 見 坂本 元 彦 諮問委員 (2014-15 ガバナー)	 本 庄 高柳 育 行 諮問委員 (2015-16 ガバナー)	 熊 谷 前嶋 修 身 ロータリー米山記念 委員会諮問委員 (2016-17 ガバナー)	 行田 さ く ち 細井 保 雄 ロータリー財団委員会 諮問委員 (2017-18 ガバナー)	 川 越 相原 茂 吉 青少年プログラム委員 会理事 (2020-21 ガバナー)	 入 間 水村 雅 啓 国際奉仕委員会 諮問委員 (2021-22 ガバナー)
 深 谷 高丹 秀 篤 社会奉仕委員会 諮問委員 (2023-24 ガバナー)	 行田 さ く ち 五十 幡 和 彦 公共イメージ委員会 諮問委員 (2024-25 ガバナー)	 本 庄 五十 嵐 敦 子 ガバナーエレクト	 鶴ヶ 島 齊藤 大 祐 ガバナーノミニ	 深 谷 高丹 秀 篤 副ガバナー	 本 庄 高柳 育 行 ロータリー公共イメージ コーディネーター	 行田 さ く ち 五十 幡 和 彦 ロータリー公共イメージ コーディネーター補佐	 深 谷 高丹 秀 篤 RIJYM (ロータリー米山記念 委員会) 地区代表社員	 本 庄 高柳 育 行 ホール・パリス・ソサエ ティ 地区コーディネーター	 行田 さ く ち 細井 保 雄 地区地区基金大口新小委員会 委員長	 本 庄 高柳 育 行 地区行動計画推進リーダ	 行田 さ く ち 細井 保 雄 ロータリー米山記念奨学 会理事
 熊 谷 前嶋 修 身 ロータリー米山記念奨学 会評議員	 高 士 見 坂本 元 彦 RLI 日本支部 地区代表委員	 川 越 相原 茂 吉 地区 RLI ファシリテーター	 高 士 見 坂本 元 彦 RRI 日本支部 地区代表委員	 本 庄 矢島 淳 一 RRI 日本支部 地区代表委員	 東松山 心 志 野口 健 吉 RRI 日本支部 地区代表委員	 志 木 西川 和 人 RRI 日本支部 地区代表委員	 本 庄 金井 福 則 RRI 日本支部 地区代表委員	 川 越 小 江 戸 大谷 龍 之 第1グループ南 ガバナー補佐	 東松山 心 志 神田 茂 第1グループ北 ガバナー補佐	 新 庄 松岡 昌 宏 第2グループ ガバナー補佐	 入 間 南 大河内 隆 敏 第3グループ西 ガバナー補佐
 所沢 東 野藤 修 三 第3グループ東 ガバナー補佐	 深 谷 東 正田 康 高 第4グループ東 ガバナー補佐	 本 庄 五十 嵐 敦 子 第4グループ西 ガバナー補佐	 熊 谷 中島 正 義 第5グループ西 ガバナー補佐	 加 須 谷山 誠 第5グループ東 ガバナー補佐	 秩 父 山根 益 男 ロータリーの友 地区代表委員	 秩 父 太田 雅 孝 地区幹事	 行田 さ く ち 田島 博 夫 財務委員会 委員長	 川 越 栗原 雄 一 財務委員会 委員	 秩 父 太田 雅 孝 財務委員会 会計	 熊 谷 前嶋 修 身 財務委員会 監査	 行田 さ く ち 五十 幡 和 彦 地区ラーニング ファシリテーター (地区ラーニング委員長)
 鶴ヶ 島 齊藤 大 祐 地区ラーニング委員会 委員	 高 士 見 島田 敏 郎 地区ラーニング委員会 委員	 所沢 倉片 順 司 地区ラーニング委員会 委員	 本 庄 金井 福 則 地区ラーニング委員会 委員	 入 間 水村 雅 啓 地区戦略計画委員会 委員長	 深 谷 高丹 秀 篤 地区戦略計画委員会 委員	 本 庄 五十 嵐 敦 子 地区戦略計画委員会 委員	 鶴ヶ 島 齊藤 大 祐 地区戦略計画委員会 委員	 川 越 栗原 雄 一 地区戦略計画委員会 委員	 秩 父 太田 雅 孝 地区戦略計画委員会 委員	 本 庄 橋本 和 也 地区戦略計画委員会 委員	 入 間 水村 雅 啓 危機管理委員会 委員長
 本 庄 五十 嵐 敦 子 危機管理委員会 委員	 行田 さ く ち 高橋 貴 子 危機管理委員会 委員	 鶴ヶ 島 齊藤 大 祐 危機管理委員会 委員	 入 間 一柳 達 朗 危機管理委員会 委員	 川 越 京野 弘 一 危機管理委員会 委員	 志 木 西浦 建 貴 危機管理委員会 委員	 本 庄 温井 康 宏 危機管理委員会 委員	 川 越 堀越 孝 危機管理委員会 委員 (弁護士)	 川 越 廣瀬 哲 也 危機管理委員会 委員 (医師)	 秩 父 相原 茂 吉 立法案検討委員会 委員長	 入 間 水村 雅 啓 立法案検討委員会 副委員長	 高 士 見 坂本 元 彦 立法案検討委員会 委員
 行田 さ く ち 五十 幡 和 彦 立法案検討委員会 委員	 本 庄 高柳 育 行 日本青少年交換研究 会埼玉会連行委員会 委員長	 深 谷 高丹 秀 篤 日本青少年交換研究 会埼玉会連行委員会 アドバイザー	 行田 さ く ち 五十 幡 和 彦 日本青少年交換研究 会埼玉会連行委員会 アドバイザー	 行田 さ く ち 高橋 貴 子 日本青少年交換研究 会埼玉会連行委員会 アドバイザー	 本 庄 茂木 聡 日本青少年交換研究 会埼玉会連行委員会 副委員長	 本 庄 温井 康 宏 日本青少年交換研究 会埼玉会連行委員会 副委員長	 川 越 栗原 雄 一 日本青少年交換研究 会埼玉会連行委員会 副委員長	 行田 さ く ち 新井 啓 介 RLI 委員会 委員長	 秩 父 太田 雅 孝 RLI 委員会 副委員長	 所沢 日向 貴 一 RLI 委員会 委員	 高 士 見 安齋 治 一 郎 RLI 委員会 委員
 深 谷 下妻 慶 悟 RLI 委員会 委員	 本 庄 高橋 豊 RLI 委員会 委員	 深 谷 ノ ス 坂田 光 司 RLI 委員会 委員	 川 越 島村 拓 史 RLI 委員会 委員	 行田 小林 群 司 RLI 委員会 委員	 本 庄 加藤 玄 静 地区記念誌委員会 委員長	 本 庄 高柳 育 行 地区記念誌委員会 副委員長	 入 間 水村 雅 啓 地区記念誌委員会 副委員長	 川 越 小 江 戸 山本 庄 一 地区記念誌委員会 第1グループ委員	 新 庄 戸高 健 司 地区記念誌委員会 第2グループ委員	 新 庄 山 西澤 長 次 地区記念誌委員会 第3グループ委員	 秩 父 原島 生 慈 地区記念誌委員会 第4グループ委員
 行田 さ く ち 五十 幡 和 彦 地区記念誌委員会 第5グループ委員	 深 谷 高丹 秀 篤 国際大会推進委員会 委員長	 皆野 眞 博 小笠 和 也 国際大会推進委員会 副委員長	 川 越 戸口 真 也 国際大会推進委員会 委員	 朝 霧 大畑 茂 国際大会推進委員会 委員	 所沢 西 高橋 和 男 国際大会推進委員会 委員	 秩 父 宮前 隆 一 国際大会推進委員会 委員	 熊 谷 今井 智 也 国際大会推進委員会 委員	 川 越 西川 孝 博 ロータリー財団監査委員 委員長	 鶴ヶ 島 西澤 克 己 ロータリー財団監査委員 委員	 秩 父 町田 靖 夫 ロータリー財団監査委員 委員	 川 越 京野 弘 一 ロータリー財団監査委員 委員長
 行田 さ く ち 宮本 伸 子 ロータリー財団監査委員 委員	 坂 戸 吉川 朋 宏 ロータリー財団監査委員 委員	 入 間 南 近藤 勝 美 ロータリー財団監査委員 委員	 高 士 見 桑原 福 治 ロータリー財団監査委員 委員	 城西大 RAC 山本 航 太 郎 ロータリー財団監査委員 委員	 城西大 RAC 伊藤 優 太 ロータリー財団監査委員 委員	 城西大 RAC 高根 依 美 里 ロータリー財団監査委員 委員	 高 士 見 島田 敏 郎 職業奉仕委員会 委員長	 所沢 東 梅沢 雅 利 職業奉仕委員会 副委員長	 鶴ヶ 島 市川 大 職業奉仕委員会 委員	 東松山 心 志 宮村 明 彦 職業奉仕委員会 委員	 志 木 吉原 正 職業奉仕委員会 委員

Governor's Massage

2026-27年度 国際ロータリー会長

オンラインカ・ハキーム・ババロラ

■トランス・アマディ・ロータリークラブ
ナイジェリア・リバーズ州

2026 - 27 年度 RI 会長オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏は、国際協議会の中で出席のロータリーに次のように述べました。「私たちの共通点は、ロータリーが私たちを変えたということです。私たちという人間を形づくり、より良い人間にしてくれたのです。」さらに、「ロータリーがどのように私たちのキャリアを変えているのか、ビジネスを変えているのか、家族を変えているのか」とも語っています。これはまさに「我磨く 事業も磨くロータリー」「入って良かったロータリー」です。ロータリーに入って良かったという思いと体験が、退会防止や会員増強につながり、ロータリーを発展させる最大の原動力になります。

テーマは

「持続可能なインパクトを生み出そう」 (CREATE LASTING IMPACT)

強調事項（優先事項）は

- ・ **ポリオ根絶** (End Polio Now) 最後の一押し (Last Mile) を完遂すること。 ワクチン接種活動だけでなく、サーベイランス (監視活動) の継続。
- ・ **平和の推進** (Promote Peace) 分断された世界において、対話と理解を促進する。 ロータリー平和フェローシップや、地域レベルでの平和構築プロジェクトの支援。
- ・ **会員増強とクラブの活性化** (Membership & Club Experience) 「クラブをより温かく迎え入れる場所にすること」を強調。 単に数を増やすだけでなく、多様な背景を持つ人々が歓迎される環境を作る。
- ・ **インパクトをもたらす奉仕** (Impactful Service) プロジェクトの「数」や「成果」だけでなく、それが地域社会にどのような長期的・持続的な変化 (Impact) をもたらしたかを重視する。

**CREATE
LASTING
IMPACT**



Governor's Massage

2026-27 年度 ガバナー

原島 生 慈

■ 秩父ロータリークラブ

内なる変化から、 持続可能なインパクトを

～地域へ、世界へ、未来へつなぐロータリーのバトン～

皆様、こんにちは。2026-27 年度、国際ロータリー第 2570 地区のガバナーを拝命いたしました。伝統ある我が地区の舵取りを担うにあたり、その重責に身が引き締まる思いと同時に、皆様と共に新たな一歩を踏み出せる喜びと期待に胸を膨らませております。

これまで我が 2570 地区は、「入って良かったロータリー」としての原体験（ロータリー・モーメント）を語り合い、そして「クラブ強化と活性化のために行動する」ことで、数々の困難を乗り越え、地域社会に貢献してきました。私たちが今こうして活動できるのは、先達が築き上げてきた偉大な基盤があるからに他なりません。

今年度、オンラインカ H. ババラ RI 会長は、『持続可能なインパクトを生み出そう（Create Lasting Impact）』という力強いメッセージを掲げました。ババラ会長は、「より良い未来というビジョンを現実にするには、私たち自身の内なる変化を意識し、解き放たなければならない」と訴えています。

一時的な奉仕にとどまらず、地域社会で、世界で、そして私たち自身の中で「持続可能な良い変化（インパクト）」を起こし続けること。そのためには、私たち一人ひとりが意識を変え、新しい一歩を踏み出すことが求められています。

ロータリーの主役は、国際ロータリーでも地区でもなく、皆様が所属する「各クラブ」であり、会員の皆様「一人ひとり」です。私たちの「内なる変化」がクラブを活性化させ、それが地域社会を大きく変える原動力となります。

今年度、私たちは RI 会長テーマ「持続可能なインパクトを生み出そう」を具現化するため、以下の 4 つの柱を中心に共に行動してまいります。

① 持続可能な「魅力あるクラブ」への進化と会員基盤の確立
会員増強は単なる数字の拡大ではありません。「退会したくない隙間のない、居心地の良いクラブ（DEI の推進）」を追求し、組織の内側から変

化を起こすことです。地域の若いプロフェッショナルや多様なバックグラウンドを持つリーダーを惹きつける、持続可能性のあるクラブ運営へとアップデートしていきましょう。

② 奉仕活動の価値を高める「ロータリー・ブランド」の確立
各クラブが地域社会で何を実践しているのか、その声を広く発信していきましょう。地元の潜在的なニーズに寄り添い、地域に深く根ざしたプロジェクトを展開することで、「地域社会になくはない団体」としての存在感とインパクトをさらに高めていきます。

③ ポリオ根絶へのラストスパート

国際ロータリーが長年取り組んできた最大の持続可能なインパクト、それがポリオ根絶です。先輩たちが繋いできたこの奇跡の活動を私たちの代で確固たるものにするため、今年度も地区一丸となった支援と、地域への啓発活動（ポリオデー等）を力強く推進します。

④ 次世代の育成とロータリーファミリーの絆

青少年奉仕活動や RYJEM（ライジェム）などのプログラムを通じて、未来のリーダーたちに学びと成長の機会を提供します。ローターアクトや学友を含む「ロータリーファミリー」との連携を深め、次代へ持続可能なバトンを繋いでいきます。

結びにかえて

ロータリーの奉仕（Service）は、自己犠牲ではなく、他者のために尽くすことが巡り巡って自分自身の喜びや成長として還ってくる「究極の自己投資」です。

2026-27 年度、皆様のパッション（情熱）とアクション（行動）を合わせ、一人ひとりの内なる変化を解き放ち、誰もが誇りを持って活動できる第 2570 地区を共に創り上げていきましょう。

「未来を変えるのは、私たちの今日の行動です。共に持続可能なインパクトを生み出しましょう。」

1 年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

諮問委員会

在籍 歴代ガバナー

Past Governors

川越



今泉清詞

Imaizumi Seiji

1993-1994 ガバナー

本庄



加藤玄静

Kato Genjo

2009-2010 ガバナー

川越



立原雅夫

Tachihara Masao

2011-2012 ガバナー

吹上



鈴木秀憲

Suzuki Hidenori

2012-13 / 2019-20 ガバナー

所沢



中井眞一郎

Nakai Shinichiro

2013-2014 ガバナー

富士見



坂本元彦

Sakamoto Motohiko

2014-2015 ガバナー

本庄



高柳育行

Takayanagi Yasuyuki

2015-2016 ガバナー

熊谷



前嶋修身

Maejima Osami

2016-2017 ガバナー

行田
さくら



細井保雄

Hosoi Yasuo

2017-2018 ガバナー

川越



相原茂吉

Aihara Mokichi

2020-2021 ガバナー

入間



水村雅啓

Mizumura Masahiro

2021-2022 ガバナー

深谷



高丹秀篤

Takani Hideatsu

2023-2024 ガバナー

行田
さくら



五十幡和彦

Isohata Kazuhiko

2024-2025 ガバナー

ご挨拶



直前ガバナー

相原茂吉

■ 川越RC

いよいよ原島年度のスタートです。オンラインカRI会長はロータリーがもたらす「変化」の効果について力説しています。仕事・家族・社会をより良い方向に変化させる事は大事だが、ロータリーは自分自身を変化させる。そして「変化」は大きなインパクトをもたらす事を述べて居ます。原島ガバナーはこれを「未来につながる結果」と捉えて、変化の積み重ねから持続可能なインパクトが生まれ、そしてその行動の原点を原島ガバナーは「活動への誇り」であると捉えました。

昨年度、私が二回目のガバナーを務め、改めてこの地区には熱いロータリアンがたくさんいらっしゃることを再認識致しました。そういった方々と接すると、皆さんロータリーを楽しんでいらっしゃいます。と同時に誇りを持っていらっしゃいます。そしてその思いや活動は、奉仕の対象となる人々ばかりでなく、一緒に行動するメンバーに素晴らしい影響を与えております。まさに原島ガバナーが提唱されるロータリーへの思いはそこにあると思います。ロータリアンの目的は、仕事を磨き自分を磨き心の許せる仲間をつくる、そして社会に貢献することであり、それは皆と一緒にロータリーを楽しみ、そして行動に誇りを持つ事から始まると言っても過言ではありません。

今年度も素晴らし充実した年度になりますよう、そして原島ガバナーのご健勝・ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



ガバナーエレクト

五十嵐敦子

■ 本庄RC

国際ロータリー第2570地区 原島生慈ガバナー年度にガバナーエレクトを務めさせていただきます。その責任の重さに身の引き締まる思いであります。先輩諸賢の皆様にはまだまだ及びませんが、ご指導をいただきながら、力の限り精励してまいります。

原島ガバナーが掲げられました地区テーマ「ロータリー活動に誇りを」は、ロータリーの価値や魅力を改めて見つめ直し、一人ひとりが誇りを持って活動することの大切さを示されていると感じております。

また、オンラインカ・ハキーム・ババロラ国際ロータリー会長メッセージ「CREATE LASTING IMPACT」(持続可能なインパクトを生み出そう)は、私たちの奉仕活動が未来へとつながっていく使命を表しているものと思います。

ロータリーには、人の出会い、友情、学び、そして地域への奉仕という大きな魅力があります。その魅力を次世代へしっかりと継承し、会員の皆様が誇りを持てる地区づくりを目指してまいりたいと考えております。

ガバナーエレクトとして、多くのことを学びながら、皆様のお力添えをいただき、次年度に向けた準備を進めてまいります。どうぞご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ガバナーノミニー

齊藤大祐

■ 鶴ヶ島RC

今年度、ガバナーノミニーを拝命いたしました、鶴ヶ島ロータリークラブ齊藤大祐と申します。身に余る光栄であるとともに、その重責に身の引き締まる思いをいたしております。

これまでロータリーの歴史と伝統を築いてこられた歴代ガバナーの皆様をはじめ諸先輩方の温かいご指導と、クラブや地区の活動を通じて培ってきた多くの素晴らしい出会いと学びが、今の私の原動力となっております。心より感謝申し上げます。

今年度ノミニーとして、原島生慈ガバナー、五十嵐敦子エレクトと連携し継続性とより魅力あるロータリークラブづくりを目指して、全力で取り組む所存です。

ガバナー就任年度に向け準備と学びを怠らず、諸先輩方が築き上げてこられた伝統を継承し、次世代へと繋ぐロータリーの未来を皆様と一緒に創り上げていければと願っております。今後とも、温かいご指導とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

結びに、皆様のますますのご健勝と、地区内各クラブのさらなるご発展、ご多幸を心よりご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



地区ラーニングファシリテーター

五十幡和彦

■ 行田さくらRC

地区の役割は、クラブが活性化するようにサポートすることです。会員増強委員会はクラブの会員増強を、公共イメージ委員会はクラブの公共イメージ向上を、社会奉仕委員会・国際奉仕委員会はクラブの社会奉仕・国際奉仕を支援することでクラブが活性化することが、地区委員会の一番の役割です。また青少年プログラム委員会、ロータリー財団委員会、ロータリー米山記念奨学委員会には、RIや日本のロータリーのプログラムを地区で推進する役割がありますが、同時に、クラブの青少年奉仕活動の支援や地区補助金の活用などを通じて、クラブの奉仕事業をサポートすることが大切です。

3大研修においても、その目的はロータリー憲章に「クラブを支援するようチームの意欲を高める機会を提供する」「次期クラブ会長の意欲を高め、協力関係を築く機会を提供する」「クラブ・リーダーシップチームの意欲を喚起し、協力関係を築く機会を提供する」と定められています。

地区ラーニング委員会としては原島年度が始まる前に①次期ガバナー補佐・地区委員長ラーニング/②3大セミナーの計画と実施を進めて参りましたが、年度が始まってからは③新会員セミナーを開催します。

地区幹事ご挨拶



太田雅孝

地区幹事 ■ 秩父RC

国際ロータリー第2570地区 2026-27年度地区幹事を務めます。

ガバナー、ガバナー補佐、各委員会の皆様のサポート役として地区事務所と協力して、この地区の事業推進に努めてまいります。

何よりも的確な、そしてタイムリーな情報の発信を心がけていきます。

特に、

- ①地区ホームページを活用願います
- ②MYROTARYの登録を推進します
- ③LINE公式アカウントの登録を推進します

1年間ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

ガバナー補佐ご挨拶



第1 G南ガバナー補佐

大谷 龍之

■ 川越小江戸RC

2026年-2027年度、第一グループ南ガバナー補佐を拝命いたしました川越小江戸ロータリークラブの大谷です。

私たちは2570地区の多くのクラブ、そして私の所属クラブも、会員数が限られた中で活動しています。

小規模クラブの現場では、例会運営、奉仕活動、役職の担い手など、一人ひとりの負担が大きくなりがちで「継続すること」そのものに難しさを感じる場面も少なくありません。

出席を維持すること、役割を引き受け続けることに、正直なところ重さを感じることもあるのが現実です。

ガバナー補佐として、現場の声に寄り添いながら、誇りを持って続けられるロータリーの形を皆様と共に考え支えていきたいと思えます。

小さな一歩の積み重ねが、やがて地域に残る確かなインパクトになることを信じて。

1年間よろしく願いいたします。



第1 G北ガバナー補佐

神田 茂

■ 東松山むさしRC

第1グループ北(東松山・坂戸・越生毛呂・鶴ヶ島・坂戸さつき・東松山むさしの6クラブ)のガバナー補佐を拝命しました。

原島ガバナーは、「ロータリー活動に誇りを！」をテーマとして掲げられました。ロータリアンは、世界でたくさんの「良い活動」をし、輝いています。その価値を再認識し、誇りを持って行動することが、次世代に続く変化の力と語られました。

当グループは会員数20～30名の比較的少人数のクラブが多いことが特徴です。少人数のクラブだから出来る、団結力と柔軟性を持ったクラブ運営、活気ある有意義な奉仕活動が、クラブでの体験を形づくり、ロータリー活動に誇りと輝きを感じることに繋がると考えます。

ロゴマーク「誇りのシンボル」が、ロータリアンの襟に輝く様、微力ではありますが、常に謙虚な姿勢を忘れず、各クラブと伴走するガバナー補佐として、誠心誠意努めてまいります。寛容の心でご指導いただきたくお願い申し上げます。



第2 Gガバナー補佐

松岡 昌宏

■ 新座RC

この度、第2グループガバナー補佐に就任が決まりました、新座ロータリークラブの松岡昌宏と申します。宜しく願い申し上げます。

今般のグループの細分化にともない、5グループから9グループになりますが、唯一分かれなかったのが第2グループです。私がロータリーに入会した頃は8クラブございましたが現在6クラブ、次年度からは1クラブが他地区に移籍、1クラブが親クラブに吸収合併と言うことで4クラブとなります。このような緊急事態に際し、ガバナー補佐として、原島ガバナーをお支えしつつ、各クラブと地区との橋渡し役を務めながら、グループ内のクラブ間の親睦・交流を促しクラブ活動の活性化を図り、退会防止、会員増強を一丁目一番地として、ロータリー活動に勤しんで参りたいと考えております。「地区はクラブのためにある」というガバナーの言葉を胸に、各クラブのロータリアン一人ひとりが輝けるような例会作り、奉仕活動の一助となれるよう、ベテランのロータリアンのご指導を仰ぎ、補佐の立場から縁の下の力持ちとして、第2グループ、ひいては第2570地区の益々の発展の一助になれば良いと考えております。最後になりますが皆様「ロータリー活動に誇りを」もてるようなロータリー活動を進めて行く所存でございます。宜しく願い申し上げます。



第3 G西ガバナー補佐

大河内 隆 徹

■ 入間南RC

2026-27年度から2570地区はこれまでの5グループから9グループに細分化されます。ガバナー補佐が9名になり、担当するクラブ数もほぼ半減します。これによって「地区はクラブのために！」をより具現化することが出来ます。

私は第3グループ西に所属する入間・飯能・日高・新狭山・狭山中央・入間南の6クラブを担当させていただきます。それぞれのクラブの特徴を把握し、これまで以上に会長幹事各位に寄り添い、各クラブがより活性化するためには何が必要かを共に考え、より深く、よりきめ細やかに支援してまいりたいと思えます。それによって、会員一人一人が誇りを持てるロータリー活動に勤しめるよう精一杯務めさせていただきます。しかしながら、至らぬ点多々あろうかと存じますので、1年間何卒ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。



第3 G東ガバナー補佐 野藤 修三

■ 所沢東RC

2026～2027年度 第3グループ東のガバナー補佐を務めさせて頂く事になりました所沢東ロータリークラブ所属の野藤修三です。

この1年間、貴重な体験をする機会を与えられた事に深く感謝しますと共に、原島ガバナーの下で更にロータリーを学び、地区運営と各クラブとの架け橋として、クラブの活性化と会員相互の連携強化に努めてまいります。

社会の変遷と共に、私たちの活動にも柔軟性と新しい発想が求められています。「変えてはいけないもの」と「変えていくもの」このバランスをどのように取っていくかが重要であり、各クラブ内の環境整備が必要であると思います。

そこで、以下の三点を重点方針として取り組みます。

1. クラブ支援と対話の充実

各クラブとのコミュニケーションを密にし、課題や要望を共有しながら、実情に寄り添った支援を行います。

2. 会員増強と次世代育成

新しい仲間を迎え入れる環境づくりと、若い世代が活躍できる機会の創出と組織文化の継承に努めます。

3. 地域社会への貢献強化

地域のニーズを踏まえた奉仕活動を推進し、より多くの方々に活動の意義を伝えてまいります。

皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



第4 G東ガバナー補佐 正田 康高

■ 深谷東RC

本年度、ガバナー補佐を拝命いたしました深谷東クラブ RC 正田と申します。

私はガバナー補佐として、第四グループ東を担当いたします、地区とクラブ、クラブ相互、そして会員同士を結ぶ架け橋となり、各クラブが特色を活かしながら活力ある運営ができるよう支援してまいります。

また、ガバナー方針の実現に向け、担当クラブの皆様と密に連携しながら、地区とクラブを繋ぎ役として誠心誠意努めてまいります。

重点目標

- ①クラブの活性化支援並びに会長・幹事との定期的な意見交換とクラブの課題把握と解決支援をしてまいります。
- ②会員増強と会員維持、純増目標の達成支援と女性・若手会員の参加促進を進めます。

③奉仕活動の充実と地域課題に対応した奉仕活動の推進を進めます。

④クラブ間交流の促進を図ります。

⑤IMに代わるグループミーティングを模索し、開催いたします。

また、会長・幹事の皆様に寄り添い、相談しやすい環境づくりを心掛け、クラブ運営の支援に努めます。

私は本年度ガバナー補佐として、地区ガバナーの方針を各クラブへの確に伝えるとともに、担当クラブの声を地区へ届ける架け橋としての役割を果たしてまいります。

結びにガバナー補佐として、担当クラブの発展と会員の皆様のロータリー活動がより充実したものとなるよう、誠心誠意努めてまいります。



第4 G西ガバナー補佐 五十嵐 敦子

■ 本庄RC

2026～27年度国際ロータリー2570地区 第4グループ西ガバナー補佐を拝命いたしました。微力ではございますが、原島生慈ガバナーのもと、各クラブの連携を大切にしながら、一年間務めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

オンラインカ・ハキーム・ババロラ国際ロータリー会長は、本年度のメッセージとして「CREATE LASTING IMPACT」～持続可能なインパクトを生み出そう～を掲げられました。また、原島ガバナーは、地区テーマとして「ロータリー活動に誇りを」を掲げておられます。私たちロータリアンの活動は、地域社会や次世代へとつながっていく大切な奉仕です。一つひとつの活動が、人と人のつながりを育み、地域に継続的な力を生み出していくものと感じております。

オンラインカ・ハキーム・ババロラ国際ロータリー会長は、本年度のメッセージとして「CREATE LASTING IMPACT」～持続可能なインパクトを生み出そう～を掲げられました。また、原島ガバナーは、地区テーマとして「ロータリー活動に誇りを」を掲げておられます。私たちロータリアンの活動は、地域社会や次世代へとつながっていく大切な奉仕です。一つひとつの活動が、人と人のつながりを育み、地域に継続的な力を生み出していくものと感じております。

第4グループ西におきましても、各クラブがそれぞれの特色を活かしながら、交流と連携を深め、互いに学び合い、高め合える環境づくりに努めてまいります。そして、会員一人ひとりがロータリーへの誇りを実感できる一年となることを願っております。会長、幹事の皆様をはじめ、会員の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。



第5 G西ガバナー補佐 中島 正義

■ 熊谷RC

「ロータリー活動に誇りを！」これが原島ガバナーの思いです。

その為にはクラブを含め様々なロータリー活動を継続させ発

展させる必要があります。本年度、原島ガバナーは地区を9グループに分け第5グループも西と東に分割されました。今までテーマを決めて開催していたIMを、形を変えて各グループごと自由にコミュニケーションを図る機会を設営することなど、地域の特色を生かした手法で考える方向性になっています。我が第5グループ西は熊谷市内のロータリークラブのグループとなります。ガバナー補佐の役割は、地区の目標とガバナーの思いを補佐しクラブと地区を結び・つなぐことだと考えます。同じ地域内で活動をしているクラブの皆様と様々な問題点を共有し、変化に必要な知識と勇気を与えられるように皆様と一緒に活動したいと思えます。第5グループ西各クラブの例会に公式訪問以外にも出席させていただきたいと考えております。私も勉強を重ねていく所存でおりますので、皆様には寛容の心をもって接していただければと思えます。会長・幹事会を通して話し合いを重ね「共通のテーマ」を見出し、目標に目指して合同例会を開催できればと考えています。一年間どうぞよろしくお願い致します。



第5G東ガバナー補佐 谷山 誠

■ 加須RC

このたび、2026-2027年度第5グループ東ガバナー補佐を拝命致しました加須ロータリークラブの谷山と申します。

本年度 RI 会長のテーマである「CREATE LASTING IMPACT」そして2026-2027年度第2570地区原島ガバナーの方針である「ロータリー活動に誇りを!」という理念のもと、各クラブが自らの強みを発揮し、地域社会に必要とされる存在としてさらに発展できるよう後押ししてまいります。

本年度は第一に「仲間への誇り」を掲げます。会員増強と維持に向けた具体策の共有、多様な人材が活躍できるクラブ運営の推進を支援します。

第二に「認知への誇り」を進めます。地域ニーズに即した事業の展開を促すとともに、広報活動を強化し、ロータリーの価値と魅力を広く発信します。

第三に「社会奉仕活動の強化」に取り組みます。クラブ間の情報交換や合同事業の機会を創出し、好事例の共有によって相乗効果を高めます。

また、今まで同様にも、今まで以上に国際奉仕、青少年奉仕、ロータリー財団、職業奉仕の、時代に即した持続可能なクラブ運営を支援します。

一年間どうぞ宜しくお願いいたします。

委員会委員長ご挨拶



ローターアクト委員長 京野 弘一

■ 川越RC

ローターアクトクラブは次世代のリーダーを育成し、地域社会や国際社会の発展に寄与する重要なプログラムです。当2570地区では現在大学を基盤とした2つのクラブが活動しておりますが、今年度新たに社会人を基盤とする2つのクラブが誕生する予定で、他にもいくつかクラブ設立に向けた準備が動き出しております。他地区に比べるとまだまだクラブ数も会員数も少なく、今後もロータリアンからのご紹介やご支援を通じて、クラブの新規設立と新規会員獲得を目指してまいります。

地区内のクラブ数が増えたことにより、合同例会や協同プロジェクトを開催するなどクラブ間の連携を深め、地域の学校・企業・NPOなどとも協力した奉仕活動やイベントの実施が可能となってまいりますので、地域社会への貢献度を高めるとともに、積極的にローターアクトの認知度向上を図ってまいります。更に他地区のローターアクトクラブとの相互交流の促進を支援し、ローターアクト活動が充実した価値のあるものとなるよう全力でバックアップしてまいります。

また、本年度は当2570地区がホストとなり、「第38回ローターアクト関東ブロック研修会」を2日間で開催いたしますので、委員会ではこれを支援し、必ず成功へ導いてまいります。ロータリークラブ会員の皆様におかれましては、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



職業奉仕委員長 島田 敏郎

■ 富士見RC

職業奉仕とは、「職業を通じて他者のためになることをすること」を意味するロータリー固有の考え方です。

日本のロータリークラブでは長い間、職業奉仕こそがロータリーの根幹であるとされ、その理念について盛んに議論がなされてきました。

職業奉仕委員会は、現在に至るまでロータリアンが大切にしてきた職業奉仕という考え方を会員の皆様により深く理解していただくことを使命として活動しております。

さて、近年の国際ロータリーでは、職業奉仕をロータリーの五大奉仕の第二部門として改めて位置付けて考え、その実践に重きを置くということが求められて

います。

しかし、ただ「職業奉仕の実践をしましょう」と言われただけでは、具体的にどのような活動を行ったらかいのかイメージが付きにくいものです。

そこで今年度の職業奉仕委員会では、職業奉仕の実践について各クラブへの助言や事例紹介を行ない、より積極的に職業奉仕の実践に取り組んでいただけるようお手伝いしていきたいと考えております。

また、職業奉仕委員会では、職業奉仕ラーニングツールを作成し、地区のホームページで公開しております。こちらについても、今年度はさらに内容を充実させたいと考えておりますので、ぜひ今後のクラブ活動にご活用いただきますようよろしくお願いいたします。



公共イメージ委員長 須田 礼子

■ 本庄RC

公共イメージ委員会では、今年度、地区とクラブ、そして各委員会の活動が継続的に伝わる仕組みづくりに取り組んでまいります。

ロータリーの価値は、奉仕活動そのものだけではなく、その活動を通して生まれる出会いや成長、友情、そして地域とのつながりの中にあります。しかし、その魅力が十分に伝わっていない場面も少なくありません。

そこで今年度は「ストーリーテリング」を意識した発信を推進してまいります。「何をしたか」だけではなく、「なぜおこなったのか」。どのような想いで取り組み、どのような変化が生まれたのかを伝えることで、ロータリーの本当の魅力が伝わるのではないかと考えています。

そして当委員会は単独で活動するのではなく、各委員会や各クラブの活動に寄り添い、その価値を発信する「支援型ハブ」としての役割を担います。組織図で表すなら、常に他委員会の隣に公共イメージ委員会が存在し、活動の可視化と発信を支える存在でありたいと思っています。

発信そのものが目的ではありません。ロータリーの価値や魅力が正しく伝わる環境をつくるのが私たちの役割です。そのために、発信に知見を持つ方々との連携や学びも積極的に取り入れながら、地区全体の発信力向上に努めてまいります。

各委員会、各クラブの魅力ある活動が地区全体へ、そして地域社会へと広がり、持続可能なインパクトへつながる一年にしてまいります。



社会奉仕委員会統轄委員長

金井 福則

■ 本庄RC

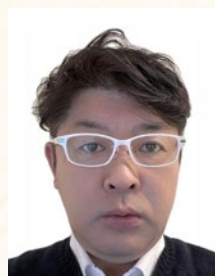
私はロータリークラブに入会して19年、そして社会奉仕委員会統轄委員長を拝命して3年目を迎えました。その中で、社会奉仕活

動について改めて考える機会がありました。

先日テレビで、日本赤十字のCMを目にしました。1867年のパリ万国博覧会で、一人の若者が赤十字活動に深く感銘を受けたことが紹介されました。その若者こそ、後に日本の近代化に大きな貢献をした渋沢栄一です。

渋沢栄一は500を超える企業の設立や発展に関わり、70歳を超える頃にはその多くを後輩に託しました。ただし、第一国立銀行（現みずほ銀行）の頭取については、日本の金融システムの安定のため77歳までその重責を担い続けました。そして第一線を退いた後は、自ら築いた財を社会に還元することに力を注ぎました。日本赤十字をはじめ、500を超える社会事業や慈善活動に尽力し、生涯を通して社会貢献に取り組んだのです。

私にとって渋沢栄一は人生の羅針盤とも言える存在です。その志に学びながら、今後も社会奉仕活動に真摯に取り組み、地域や社会の為に尽力してまいりたいと思います。



国際奉仕委員長

廣橋 宣光

■ 深谷東RC

2026-27年度 国際奉仕委員長を拝命いたしました、深谷東ロータリークラブの廣橋宣光です。本年度の地区活動方針には、ポリオ根絶活動の推進、米山記念奨学会との連携、青少年交換

への協力など、国際奉仕に直結する重要なテーマが掲げられています。これらを確実に前進させるため、委員会として実行性のある取り組みを進めるとともに、単年度で終わらない“継続性のある三か年計画”の視点を大切にしております。継続して取り組むことで、地区全体の力を着実に高めていきたいと考えています。

国際奉仕は、海外との交流だけでなく、異文化を理解し、互いを尊重する姿勢を育む活動です。どのクラブでも無理なく参加できる事業を提案し、若手会員や新入会員にも関わりやすい環境を整えます。また、米山奨学生や青少年交換経験者との協働を広げ、地区全体で国際理解を深める機会を積み重ねていきます。

さらに、原島ガバナーの掲げる「地区役員はワンチームで」という言葉を胸に、他委員会とも連携しながら、地区全体で国際奉仕を支える基盤づくりを進めます。

皆さまと共に、未来へ続く国際奉仕の流れを築く一年にしたいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。



ロータリー財団委員会統轄委員長 細淵克則

■ 入間RC

ロータリー財団の目的は人びとの健康状態を改善して質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。ロータリー財団はロータリー会員をはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。ご寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。また世界に奉仕する若人に教育の場を提供する支援制度があります。ロータリー財団委員会は、財団についてクラブに情報を提供し、財団プログラムへの参加と寄付に対するクラブの意欲を高めるように努めます。また、DDF（地区財団活動資金）利用の承認および補助金申請のためのクラブの参加資格認定を担当します。さらに、ロータリー財団が推奨する5つの委員会を設け活動することにより、ロータリー会員からの寄付が世界でよいことを行う財団プログラムを支えていること、ロータリー財団は私たち一人ひとりのものであることを、より実感していただけるように努めてまいります。



ロータリー米山記念奨学委員会統轄委員長 一柳達朗

■ 入間RC

2026-2027 学年度米山記念奨学委員会は地区役員9名で活動して行きます。

今年度の米山記念奨学生は継続2名、新規16名の計18名です。昨年度より2名の増加となりました。皆様からの善意ある普通寄付+特別寄付に感謝申し上げます。米山記念奨学生の受け入れ人数はロータリアンの皆様からのご寄付によって2年後の受け入れ奨学生の数が決まります。寄付額が多くなれば、受け入れ奨学生の数も増えて行きます。今年度も皆様からのご寄付を宜しくお願申し上げます。今後の活動として、

- ・7月11日（土）米山記念奨学委員会セミナー
- ・9月27日（日）米山梅吉記念館研修旅行
- ・10月～12月にかけて、米山月間（奨学生による卓話活動）
- ・10月18日（日）外国人による日本語スピーチコン

テスト（鶴ヶ島 RC 主催）

- ・11月1日（日）東松山市スリーデーマーチにてポリオ撲滅活動
- ・11月22日（日）地区大会に参加、募金活動及びスピーチ
- ・12月20日（日）カウンセラー会議及び米山クリスマス会

など沢山の活動があります。皆様のご理解ご協力、そしてご参加の程宜しくお願申し上げます。



会員増強委員長

山田哲也

■ 川越RC

国際ロータリー第2570地区会員増強委員長を、3年委員会ということで、前年度に引き続き、拝命いたしました。

2026-27年度の原島ガバナー方針「ロータリー活動に誇りを！」を胸に、会員増強を進めることは、単に会員数を追うことではなく、クラブの存続と発展を守り抜くことに直結します。

特にクラブ数の減少を防ぐため、各クラブ最低1名以上の入会につながるよう、候補者の発掘からアプローチ、入会後の安心・定着、活躍の場づくりまでを切れ目なく支援してまいります。

また、原島ガバナーの会員増強についてのお考えは、「『最高の仲間と、選ばれた誇りを分かち合う』『数』を追うだけでなく、ロータリーの理念を正しく伝え、入会したことがステータスであり喜びであると感じてもらうこと。」です。

私自身もその思いを各クラブと共有し、誇りをもってロータリーを語り、魅力を届け、継続につながる活動を後押しします。

会員増強は委員会だけでは成し得ません。各クラブの皆さまと力を合わせ、全員で成果を分かち合える年度にしていく所存です。

今年度も、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



お詫び：誌面の都合により表彰・新会員紹介・訃報は、次号で掲載いたします。

会員数

【2026年5月】

グループ	クラブ名	会員数				
		2025年度初め	2026年5月末	対年初増減	2026年5月末 女性会員	M Y R C 登録率%
第1南	川越	103	100	-3	5	49
	川越小江戸	14	14	0	2	50
	川越西	31	37	6	7	49
	川越中央	23	22	-1	0	32
第1北	東松山	23	20	-3	1	100
	小川	4	3	-1	1	0
	坂戸	31	33	2	1	30
	越生毛呂	7	7	0	1	1
	鶴ヶ島	29	30	1	2	62
	坂戸さつき	18	20	2	3	60
	東松山むさし	33	34	1	3	38
	小計	316	320	4	26	43
第2	朝霞	22	23	1	2	50
	志木	48	50	2	5	54
	富士見	40	39	-1	0	49
	新座	25	27	2	3	23
	和光	4	5	1	1	80
	新座こぶし	10	10	0	3	70
	小計	149	154	5	14	54
第3西	入間	39	41	2	2	48
	飯能	68	66	-2	2	42
	日高	22	24	2	4	35
	新狭山	12	12	0	0	92
	入間南	39	45	6	1	50
	狭山中央	19	18	-1	5	37
第3東	所沢	68	66	-2	6	32
	新所沢	19	18	-1	2	63
	所沢西	37	40	3	4	31
	所沢東	47	48	1	2	30
	小計	370	378	8	28	46
第4東	深谷	56	61	5	13	43
	岡部	19	20	1	2	70
	深谷東	74	70	-4	0	34
	深谷ノース	28	34	6	5	48
第4西	本庄	97	113	16	13	30
	秩父	54	53	-1	1	51
	寄居	34	33	-1	1	67
	皆野・長瀨	8	8	0	0	25
	小計	370	392	22	35	46
第5西	熊谷	97	98	1	4	49
	熊谷西	6	6	0	0	33
	熊谷籠原	27	27	0	0	41
	熊谷南	26	27	1	2	48
第5東	行田	52	52	0	5	17
	羽生	36	42	6	4	17
	加須	22	24	2	1	13
	行田さくら	52	50	-2	4	67
	吹上	5	5	0	0	80
	小計	323	331	8	20	41
地区	合計	1,528	1,575	47	123	41

※新年度のグループ編成に伴いクラブ掲載順を変更しています。

スケジュール

7月 July

- 1 (水) ガバナー会 (大阪)
- 4 (土) 年度初め地区役員合同会議
- 11 (土) 米山記念奨学委員会セミナー
- 12 (日) カウンセラー会議 (青少年)
- 21 (火) 【公式訪問】川越
- 22 (水) 【公式訪問】寄居
- 23 (木) 【公式訪問】行田
- 24 (金) 【公式訪問】深谷/岡部/深谷東/深谷ノース
- 26 (日) 青少年交換一次選考試験
- 27 (月) 【公式訪問】川越中央 (夜)
- 29 (水) 【公式訪問】志木
- 30 (木) 【公式訪問】本庄

8月 August

- 1 (土) 財団第1回オリエンテーション
入会3年未満WSL
- 7 (金) 【公式訪問】熊谷
- 19 (水) 【公式訪問】鶴ヶ島
- 20 (木) 【公式訪問】坂戸
- 23 (日) 青少年交換開講式 (第1回オリエンテーション)
- 25 (火) 【公式訪問】入間南
- 26 (水) 【公式訪問】飯能/日高
- 27 (木) 【公式訪問】入間
- 28 (金) 【公式訪問】新狭山/狭山中央

ガバナー月信 7月号 2026-2027年度 Vol.1
 2027年7月10日発行

国際ロータリー第2570地区 地区事務所
 〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号
 ガーデンホテル紫雲閣内

[TEL] 0493-21-2570 [FAX] 0493-21-2571
 [mail] d-office@mail.rid2570.gr.jp
 [Web] https://rid2570.gr.jp

[ガバナー月信編集委員会] 委員長：井上 豊 副委員長：金子展明
 委員：宮前 勉 浅見 徹 橋本和也

 羽生 奥澤直人 職業奉仕委員会 委員	 熊谷 西山秀木 職業奉仕委員会 委員	 本庄 滝澤博史 職業奉仕委員会 委員	 川越 山田哲也 会員増強委員会 委員長	 川越 小林勇次郎 会員増強委員会 副委員長	 福越中央 田中秀樹 会員増強委員会 委員	 志木 神山威仁 会員増強委員会 委員	 鶴ヶ島 加藤拓 会員増強委員会 委員	 所沢東 鶴田良孝 会員増強委員会 委員	 入間南 齋藤良徳 会員増強委員会 委員	 本庄 洪澤健司 会員増強委員会 委員	 本庄 齋藤 渉 会員増強委員会 委員	 行田 齋藤 渉 会員増強委員会 委員
 飯能 小谷野大典 会員増強委員会 委員	 鶴ヶ島 田中憲一 会員増強委員会 委員	 本庄 須田礼子 公共イメージ委員会 委員長	 深谷ノース 坂田光司 公共イメージ委員会 副委員長	 熊谷南 鈴木 聡 公共イメージ委員会 副委員長	 志木 内山雄二郎 公共イメージ委員会 委員	 所沢東 三木由紀郎 公共イメージ委員会 委員	 飯能 服部融亮 公共イメージ委員会 委員	 行田 野口一信 公共イメージ委員会 委員	 入間南 齋藤定利 公共イメージ委員会 委員	 熊谷南 川岸 勝 公共イメージ委員会 委員	 鶴ヶ島 山田一希 公共イメージ委員会 委員	 鶴ヶ島 山田一希 公共イメージ委員会 委員
 本庄 金井福則 社会奉仕委員会 統轄委員長	 入間 晝間和弘 社会奉仕委員会 地域社会奉仕委員会 委員長	 入間南 西澤正夫 社会奉仕委員会 地域社会奉仕委員会 副委員長	 深谷東 小林弘満 社会奉仕委員会 地域社会奉仕委員会 委員	 本庄 長谷川京子 社会奉仕委員会 地域社会奉仕委員会 委員	 鶴ヶ島 木村武志 社会奉仕委員会 地域社会奉仕委員会 委員	 川越西 数野純一 社会奉仕委員会 地域社会奉仕委員会 委員	 深谷 下境将寛 社会奉仕委員会 子ども家庭委員会 委員長	 深谷東 真下和貴 社会奉仕委員会 子ども家庭委員会 副委員長	 深谷 大谷まり子 社会奉仕委員会 子ども家庭委員会 委員	 行田 小松和弘 社会奉仕委員会 子ども家庭委員会 委員	 行田 宮内和広 社会奉仕委員会 子ども家庭委員会 委員	 行田 宮内和広 社会奉仕委員会 子ども家庭委員会 委員
 深谷東 廣橋宣光 国際奉仕委員会 委員長	 新所沢 中川 潤 国際奉仕委員会 副委員長	 朝霞 大畑 茂 国際奉仕委員会 委員	 東松山むさし 山下 茂 国際奉仕委員会 委員	 深谷 足立修平 国際奉仕委員会 委員	 本庄 織田裕之 国際奉仕委員会 委員	 寄居 赤坂匠康 国際奉仕委員会 委員	 深谷ノース 水島章太 国際奉仕委員会 委員	 熊谷 鯨井隆行 国際奉仕委員会 委員	 熊谷 新井清貴 国際奉仕委員会 委員	 行田さくら 田島博夫 国際奉仕委員会 委員	 秩父 高畑泰寿 国際奉仕委員会 委員	 秩父 高畑泰寿 国際奉仕委員会 委員
 鶴ヶ島 新井佑太 国際奉仕委員会 委員	 行田さくら 高橋貴子 青少年プログラム委員会 統轄委員長	 志木 西浦建貴 青少年プログラム委員会 アクト・ライラ委員会 委員長	 志木 宮川慎太郎 青少年プログラム委員会 アクト・ライラ委員会 副委員長	 所沢東 中島洋志 青少年プログラム委員会 アクト・ライラ委員会 委員	 川越 高橋哲彦 青少年プログラム委員会 アクト・ライラ委員会 委員	 所沢東 新倉良之 青少年プログラム委員会 アクト・ライラ委員会 委員	 入間南 宮 佳武 青少年プログラム委員会 アクト・ライラ委員会 委員	 深谷 大嶋俊久 青少年プログラム委員会 アクト・ライラ委員会 委員	 本庄 温井康宏 青少年プログラム委員会 アクト・ライラ委員会 委員長	 深谷 押野見孝道 青少年プログラム委員会 アクト・ライラ委員会 副委員長	 入間南 清水洋行 青少年プログラム委員会 アクト・ライラ委員会 副委員長	 入間南 清水洋行 青少年プログラム委員会 アクト・ライラ委員会 副委員長
 寄居 竹内英明 青少年プログラム委員会 委員	 本庄 小島賢大 青少年プログラム委員会 青少年交換委員会 委員	 行田さくら 川野健人 青少年プログラム委員会 青少年交換委員会 委員	 坂本さくら 友田雅明 青少年プログラム委員会 青少年交換委員会 委員	 東松山むさし 鯨井美知子 青少年プログラム委員会 青少年交換委員会 委員	 鶴ヶ島 佐々木龍児 青少年プログラム委員会 青少年交換委員会 委員	 入間南 田中智宏 青少年プログラム委員会 青少年交換委員会 委員	 飯能 前島宏之 青少年プログラム委員会 青少年交換委員会 委員	 本庄 五十嵐敦子 青少年プログラム委員会 青少年交換委員会 委員	 鶴ヶ島 齋藤大祐 青少年プログラム委員会 青少年交換委員会 委員	 入間 細淵克則 ロータリー財団委員会 統轄委員長	 本庄 茂木 聡 ロータリー財団委員会 統轄副委員長	 本庄 茂木 聡 ロータリー財団委員会 統轄副委員長
 寄居 安藤治一郎 ロータリー財団委員会 ホリタプラス委員会 委員長	 深谷 寺田恭典 ロータリー財団委員会 ホリタプラス委員会 副委員長	 川越小江戸 新井祐司 ロータリー財団委員会 ホリタプラス委員会 委員	 川越小江戸 福山健朗 ロータリー財団委員会 ホリタプラス委員会 委員	 羽生 中嶋理恵子 ロータリー財団委員会 資金推進委員会 委員長	 熊谷南 清水保人 ロータリー財団委員会 資金推進委員会 副委員長	 川越中央 有岡俊高 ロータリー財団委員会 資金推進委員会 委員	 深谷 熊谷俊子 ロータリー財団委員会 資金推進委員会 委員	 秩父 今泉学之 ロータリー財団委員会 補助金委員会 委員長	 熊谷 溝田義信 ロータリー財団委員会 補助金委員会 副委員長	 所沢 鳥居由美子 ロータリー財団委員会 補助金委員会 委員	 本庄 間正良昭 ロータリー財団委員会 補助金委員会 委員	 本庄 間正良昭 ロータリー財団委員会 補助金委員会 委員
 志木 遠藤貴博 ロータリー財団委員会 財団管理委員会 委員長	 朝霞 荒木和之 ロータリー財団委員会 財団管理委員会 副委員長	 熊谷 日向美津江 ロータリー財団委員会 財団管理委員会 委員	 入間 駒形一人 ロータリー財団委員会 財団管理委員会 委員	 川越 島村拓史 ロータリー財団委員会 財団管理委員会 委員	 鶴ヶ島 横山明美 ロータリー財団委員会 財団管理委員会 副委員長	 行田さくら 山岸泰輔 ロータリー財団委員会 財団管理委員会 委員	 飯能 本間由也 ロータリー財団委員会 財団管理委員会 委員	 入間 一柳達朗 ロータリー財団委員会 財団管理委員会 統轄委員長	 入間 山崎共子 ロータリー財団委員会 財団管理委員会 委員	 川越 新井裕喜 ロータリー財団委員会 財団管理委員会 副委員長	 羽生 中村重継 ロータリー財団委員会 財団管理委員会 委員	 行田さくら 中村重継 ロータリー財団委員会 財団管理委員会 委員
 本庄 武正進介 ロータリー財団委員会 推進委員会 委員	 日高 白井 威 ロータリー財団委員会 推進委員会 委員	 鶴ヶ島 向井宏倫 ロータリー財団委員会 推進委員会 副委員長	 狭山中央 東 美栄 ロータリー財団委員会 推進委員会 委員	 坂戸 岡部みゆき ロータリー財団委員会 推進委員会 委員	 秩父 島田憲一 地区大会実行委員会 実行委員長	 秩父 篠崎弘蔵 地区大会実行委員会 副実行委員長	 秩父 加藤嘉郎 地区大会実行委員会 副実行委員長	 秩父 井上 豊 ガバナー月信編集委員会 委員長	 秩父 金子展明 ガバナー月信編集委員会 副委員長	 秩父 宮前 勉 ガバナー月信編集委員会 委員	 秩父 浅見 徹 ガバナー月信編集委員会 委員	 秩父 浅見 徹 ガバナー月信編集委員会 委員
 本庄 橋本和也 ガバナー月信編集委員会 委員	 秩父 井上 豊 地区副幹事	 秩父 金子展明 地区副幹事	 秩父 宮前 勉 地区副幹事	 秩父 阪本昇寿 地区副幹事	 秩父 関根昭文 地区副幹事	 秩父 関口光英 地区副幹事	 皆野長巻 高田富康 地区副幹事	 寄居 吉田正博 地区副幹事	 寄居 清水雄一郎 地区副幹事	 寄居 橋本和也 地区副幹事	 本庄 橋本和也 地区副幹事	 本庄 橋本和也 地区副幹事

ガバナー月信
GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER
JULY 2024
VOL.01